

# 安全データシート

作成日 2016年 3月16日

改訂日 2021年 8月18日 1/4頁

SDS No.1050-28001

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : パージ&トラップ GC・MS用 標準水1  
供給者名 : ジーエルサイエンス株式会社  
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F  
電話番号 : 03-5323-6611  
FAX番号 : 03-5323-6622  
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)  
製品コード : 1050-28001、1050-  
整理番号(SDS No.) : 1050-28001  
推奨用途及び使用上の制限 : 試験・研究用

## 2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない  
物理的及び化学的危険性 : 通常の取り扱いでは危険性は低い。  
健康に対する有害性 : 経口毒性は低い、大量に摂取すると血液中のナトリウム濃度が低下し、低ナトリウム血症を引き起こす。  
環境への影響 : データなし  
その他の情報 : データなし

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質  
化学名または一般名 : 水  
濃度または濃度範囲 : --  
化学式 : H<sub>2</sub>O  
官報公示整理番号 : 化審法：設定されていない  
安衛法：設定されていない  
CAS RN : 7732-18-5

## 4 応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い場合には医師の手当てを受けること。  
皮膚に付着した場合 : --  
眼に入った場合 : --  
飲み込んだ場合 : 大量に摂取すると血液中のナトリウム濃度が低下し、低ナトリウム血症を引き起こす。気分が悪い場合には医師の手当てを受けること。  
ばく露した場合 : --  
急性症状及び遅発性症状の  
最も重要な兆候症状 : --  
応急措置をする者の保護 : --

## 5 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤 : --  
火災時の特有危険有害性 : 適切な保護具を着用する。  
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。  
消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : --  
環境に対する注意事項 : --  
封じ込めおよび浄化の方法および機材 : 適切な保護具をつけて処理すること。

## 7 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策	: --
安全取扱注意事項	: --
衛生対策	: --

## 保管

適切な保管条件	: 容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。
避けるべき保管条件	: 火花、高温、スパーク、電気、混触危険物質との接触を避ける。
技術的対策	: --
混触危険物質	: --
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン等(密閉できるもの)

## 8 ばく露防止及び保護措置

設備対策	: --
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない
ACGIH TLV-TWA	: 設定されていない

## 保護具

呼吸器の保護具	: --
手の保護具	: --
眼の保護具	: --
皮膚及び身体の保護具	: --
適切な衛生対策	: --

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: 0°C
沸点または初留点	: 100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
溶媒に対する溶解性	: データなし
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数	
log Po/w	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/または相対密度	: 1 mg/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度(空気=1)	: データなし
粒子特性	: 該当しない

## 10 安定性及び反応性

反応性	: 適切な保管条件下では安定。
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 適切な保管条件下では安定。
避けるべき条件	: 適切な保管条件下では通電しないが、不純物が混入した場合、通電によって水素と酸素に分解される。
混触危険物質	: データなし



---

化審法	: 非該当
消防法	: 非該当
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当
土壌汚染対策法	: 非該当

---

## 1.6 その他の情報

### 引用文献等

ezCRIC 日本ケミカルデータベース株式会社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

16918の化学商品、化学工業日報社(2018)

航空危険物規則書 第62版邦訳 等・他

### 記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。